

## 岡崎市既存住宅浄化槽付替え時の処理対象人員算定基準のただし書取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、日本工業規格「建築物の用途別による尿尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302 : 2000) の「2 建築用途別処理対象人員算定基準」のただし書 (以下「JIS ただし書」という。) の適用にあたり必要な事項を定めるものとする。ただし、本要領の適用対応は、既存住宅浄化槽付替え時で、建築基準法等の手続きがない場合に限るものとする。

(定義)

第2条 この要領において使用する用語は建築基準法 (昭和 25 年法律第 201 号)、浄化槽法 (昭和 58 年法律第 43 号) 及び浄化槽工事の技術上の基準及び浄化槽の設置等の届出に関する省令 (昭和 60 年厚生省・建設省令第 1 号) に定めるところによる。

(手続き)

第3条 既存の住宅に設置するし尿浄化槽について、JIS ただし書きの適用を受けようとする者 (以下、「申請者」という。) は、浄化槽設置届出書の提出にあわせて、JIS ただし書き適用願 (様式第 1 号) を提出しなければならない。

(審査)

第4条 前条の申請内容が、次の各号に定める事項の全てに適合する場合は、処理対象人員を 5 人とすることができる。

- (1) 建築物の用途が JIS A 3302 表中の住宅であること。
- (2) 実居住人員及び予定居住人員が 5 人以下であること。
- (3) 次のいずれかの方法により算定した予想水道等使用量が 1,000 リットル/戸・日以下であること。ただし、前号の実居住人員 (居住人員の増加の予定がある場合は、予定居住人員) が 3 人以下の世帯の場合においては、この限りではない。

ア 水道のみを使用している場合

年間最大水道使用量実績値とする。ただし、居住人員の増加の予定がある場合にあつては、年間最大水道使用量実績値を実居住人員で除した値に予定居住人員を、従前が汲取り便所の場合にあつては、年間最大水道使用量実績値に 1.25 を、それぞれの場合に応じて乗じて得た値とする。

イ 井戸水等を併用している場合

アの方法によるものとし、「年間最大水道使用量実績値」を「年間最大水道使用量実績値に年間最大井戸水等使用量実績値を加えた値」と読み替えて算定した値とする。

- 2 担当者は、申請者に対し、今後、建築確認申請や建築許可等の手続きを行う場合は、改めて人槽算定の審査が必要となるため、再度浄化槽の付替えが必要となる場合がある旨の説明を行う。

(指導)

第5条 担当者は、JIS ただし書き適用後に居住人員や使用状況等の変化によって水質に支障が生じる恐れがある場合、居住者及び浄化槽管理者に対して必要な措置を講じるように指導を行う。

附 則

この要領は令和4年3月18日から施行する

附 則

この要領は令和6年2月1日から施行する

様式第 1 号

既存住宅浄化槽付替え時の処理対象人員算定基準のただし書適用願い

年 月 日

(あて先) 岡崎市長

(申請者) 住 所

氏 名

電話番号 ( ) —

建築物の使用状況が下記のとおりであるため、ただし書の適用をお願いします。

なお、ただし書適用の際には、建築基準法や浄化槽法等の関係法令を遵守し、適正な浄化槽の維持管理を行うとともに、生活環境の保全及び公衆衛生上の支障が生じた場合には、責任を持って適切に対応します。

1	設 置 場 所	岡崎市	
2	住宅の規模 (延べ面積)	住 宅 部 分	m <sup>2</sup>
		その他の用途部分	m <sup>2</sup>
3	居 住 人 員	現在の居住人員※1	人
		将来の予定居住人員※2	人
4	井戸水等の使用の有無	<input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
5	年間最大水道使用量実績 ※3	リットル/戸・日	
6	年間最大井戸水等使用量実績 ※4	リットル/戸・日	
7	予測水道使用量 ※5	リットル/戸・日	

(注意)

- 1 本適用願いは、浄化槽設置届出書にあわせて提出してください。
- 2 ※1 及び※2 が3人以下である場合は、項目5以降の記載は不要です。
- 3 本緩和措置適用後、住宅の増改築や建替え等で建築確認申請等の手続きを行う際や、売買等により居住者が変わって使用する際には JIS 算定基準ただし書は適用されないため、処理対象人員に不足が生じる場合は浄化槽の付替えが必要となります。

裏面有り

(裏)

- ※1 現在居住している世帯人員を記載してください。
- ※2 今後、子供の出生等により世帯人員の増加が見込まれる場合は、最大見込みとなる世帯人員を記載してください。また、世帯人員が増加する予定がない場合は、現在居住している世帯人員を記載してください。
- ※3 直近1年間の水道使用量を明らかにする資料（水道担当部局が発行する利用明細の写しなど）のうち、最も使用量が多い期間の使用量を1日あたりに換算して求めた値を記載してください。また、最近2年間の水道使用量を明らかにする資料を添付してください。ただし、※1及び※2が3人以下である場合は、資料は不要です。
- ※4 井戸水等の使用がある場合には、直近2年間の井戸水等の使用量を明らかにする資料（メーター等により記録した資料など）のうち、最も使用量が多い期間の使用量を1日あたりに換算して求めた値を記載してください。また、最近2年間の井戸水等使用量を明らかにする資料を添付してください。ただし、※1及び※2が3人以下である場合は、資料は不要です。
- ※5 ア 水道のみ使用している場合の予測水道使用量（ $\frac{\text{リットル}}{\text{戸} \cdot \text{日}}$ ）＝（年間最大水道使用量実績（ $\frac{\text{リットル}}{\text{戸} \cdot \text{日}}$ ）／実居住人員）×予定居住人員  
イ 井戸水を使用している場合の予測水道使用量（ $\frac{\text{リットル}}{\text{戸} \cdot \text{日}}$ ）＝{(年間最大水道使用量実績＋年間最大井戸水等使用量実績（ $\frac{\text{リットル}}{\text{戸} \cdot \text{日}}$ ）)／実居住人員}×予定居住人員  
ウ 従前が汲み取り便所である場合の予測水道使用量（ $\frac{\text{リットル}}{\text{戸} \cdot \text{日}}$ ）＝上記ア又はイで得た値×1.25